

広域連携優良苗木確保対策費（拡充）

【平成19年度概算決定額 51,868（50,000）千円】

事業のポイント

多様な森林の整備の推進に向けて、広葉樹等の多様な優良種苗を安定的に確保・供給します。

国民的な広がりを見せる花粉症対策として、花粉の発生を抑制するための花粉症対策苗木の供給の大幅な加速化を図ります。

- ・ 新たな森林・林業基本計画においては、多様な森林づくりのための広葉樹林化等を推進することとしており、森林整備の基礎的資材である苗木についても広葉樹等多様な優良種苗を安定的に確保。
- ・ 国民的な広がりを見ている花粉症対策として、花粉の発生を抑制を図るための少花粉スギ品種等を開発しており、その供給量の拡大が急務。

政策目標

少花粉スギ等の苗木供給量を大幅に加速化

H17年度約9万本→H28年度100万本超

<内容>

1. 広葉樹等の多様な苗木の生産体制の整備

優良な広葉樹等の苗木を確保するため、広葉樹等の親木(母樹林)から種子の採取、精選等を行うとともに種子等を広域間で活用します。

また、流通段階における産地系統の表示の促進等を行います。

2. 花粉症対策苗木生産の支援

少花粉スギ品種等の苗木の生産・供給に際して、苗木の得苗率の向上及び移送に伴う活着率低下防止のための必要な支援を行います。

また、少花粉スギ品種等の種子及び穂木を広域間での活用を促進します。

3. 優良種苗の需給の安定

都道府県間での苗木や種子等の需給バランスを確保するための指導・調整などを行うとともに、苗木の生産計画のための苗畑調査などを実施します。

4. 花粉症対策苗木の供給の加速化のためのモデル事業の実施

花粉症対策苗木の供給を大きく加速することを可能とする、新しいさし木生産技術(さし穂を採穂園に頼らず、苗木から直接採穂するマイクロカッティングによるさし木生産)の普及を図るためのモデル事業を実施します。

<補助率>

定額

<事業実施主体>

民間団体

<事業実施期間>

平成19年度～21年度(3年間)

[担当課: 林野庁研究・保全課]